

SELinuxユーザ会 夏の勉強会2007

SE-PostgreSQL開発チーム

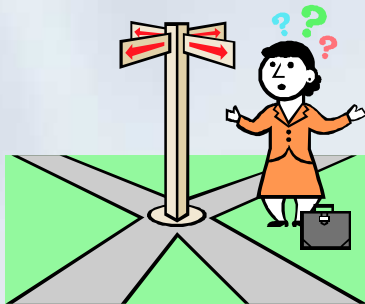
KaiGai Kohei <kaigai@kaigai.gr.jp>

Security-Enhanced PostgreSQL

~As a component of secure system environment~

SE-PostgreSQLのコンセプト

OS(SELinux)のセキュリティポリシーに基づく データベースのアクセス制御



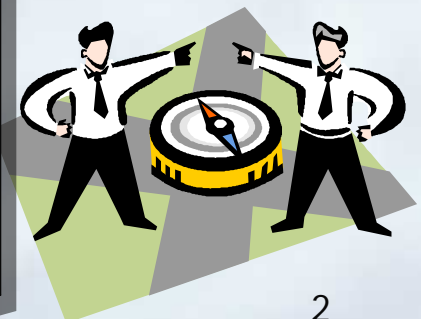
従来のPostgreSQL

- OSはデータベースアクセス制御に関与できない
- OS/RDBMSのセキュリティポリシーは別々
 - OSと独立なDB認証
 - GRANT/REVOKEで設定するACL



SE-PostgreSQL

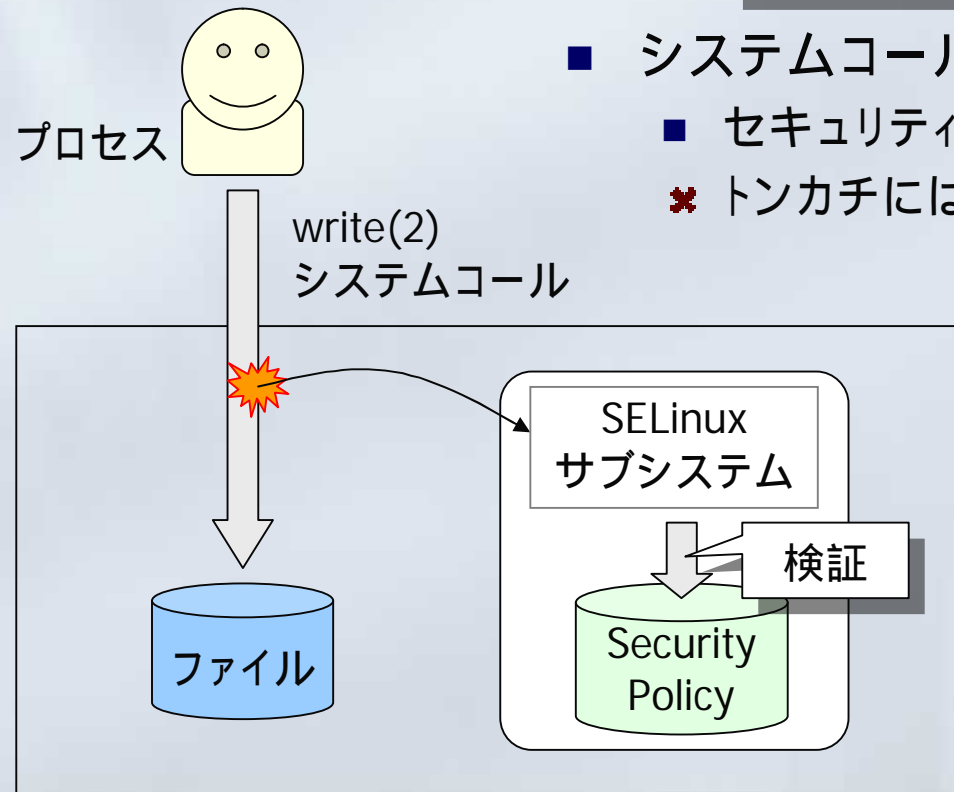
- システムワイドに一貫したセキュリティポリシー
 - OS上と同じ権限でデータベースにアクセス
 - DBオブジェクトにもセキュリティコンテキスト
- 細粒度・強制アクセス制御



SELinuxのアクセス制御

SELinux = OSのリファレンスモニタ

回避不可能性・耐タンパー性・検証可能性



- システムコール呼出しをフック
 - セキュリティポリシーに基づいて意思決定
 - ✖ トンカチには勝てない

システムコールを経由しない攻撃
SELinuxの対象外

- ✓ トンカチでサーバを物理破壊
- ✓ 機密情報をデータベースに格納

SE-PostgreSQLのアクセス制御

SE-PostgreSQL = SQLのリファレンスモニタ

DBクライアント



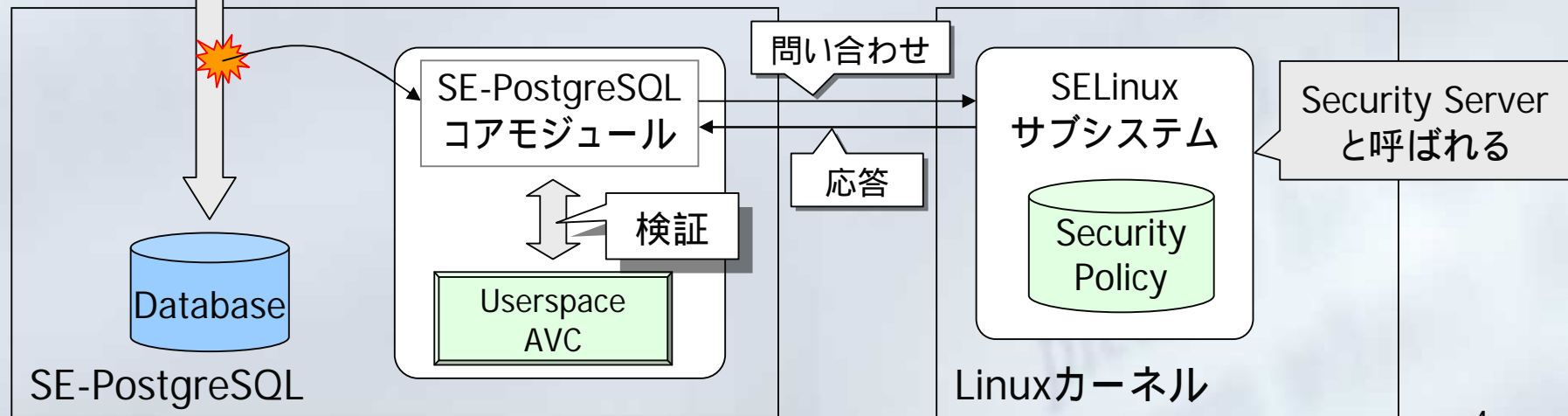
SQLクエリ

- SQLクエリの実行をフック

- セキュリティポリシーに基づいて、...

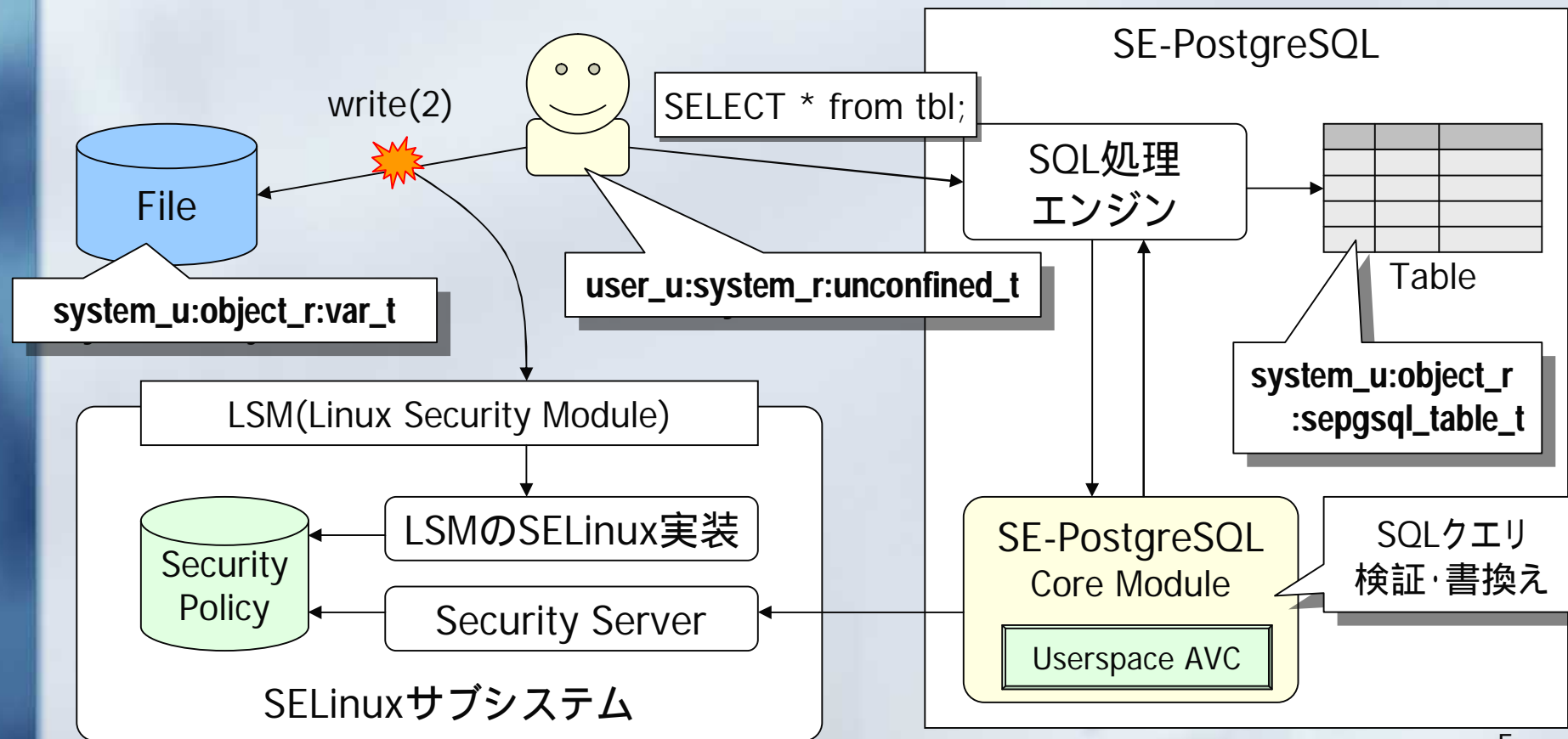
- ✓ DBオブジェクトへのアクセス制御

- ✓ DBオブジェクトへセキュリティコンテキストを付与

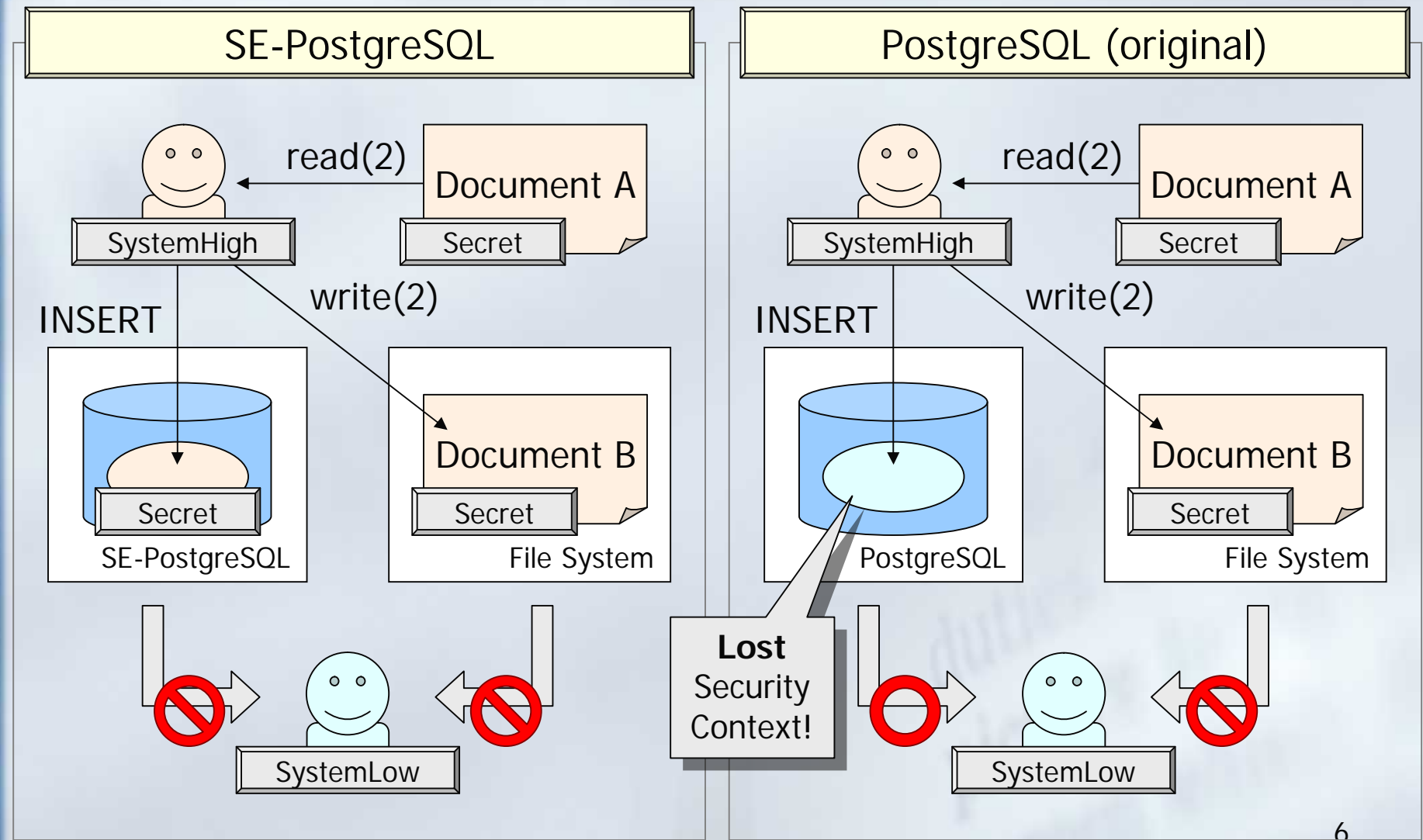


SELinux/SE-PostgreSQL連携

- プロセスのセキュリティコンテキストをAs-Isで利用
例) 対ファイル、対DBオブジェクトでも一貫した権限が適用



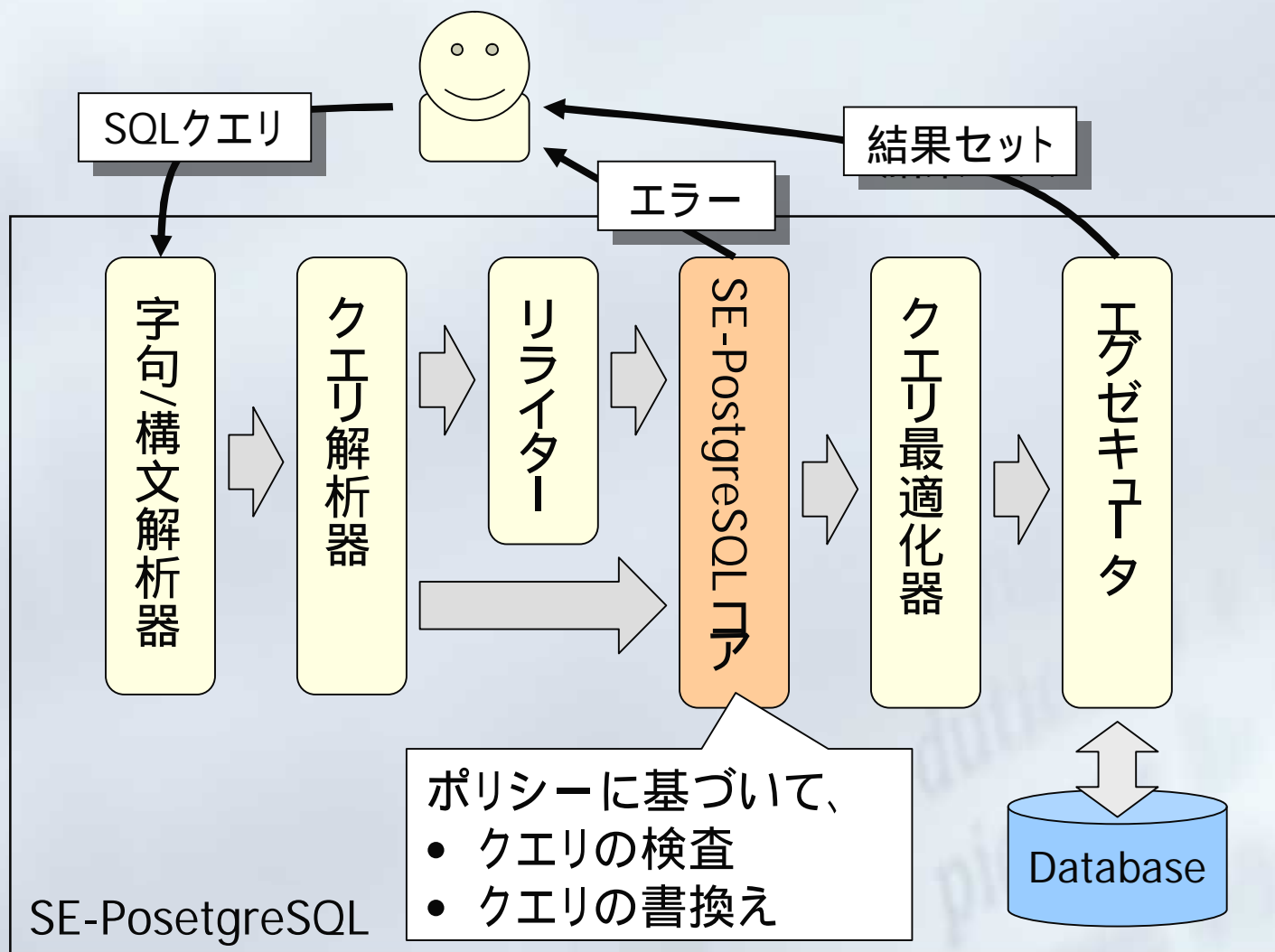
情報フロー制御



細粒度・強制アクセス制御

- 細粒度アクセス制御
 - PostgreSQLのアクセス制御リスト
 - 行レベル/列レベルアクセス制御は存在せず
 - Binary Large Objectへのアクセス制御は存在せず
 - SE-PostgreSQLの利用するオブジェクトクラス
 - Database, Table, Column, Tuple, Procedure, Blob
 - 合計58種類のパーミッションを定義(重複含む)
- 強制アクセス制御
 - PostgreSQLの特権データベースユーザ
 - アクセス制御リストを無視する (=OSのrootと同じ)
 - SE-PostgreSQL = 全てのSQLクエリを検証
 - ✓ リファレンスモニタとしての回避不可能性

SE-PostgreSQLの実装



Case Study (1)

```
SELECT c1, c2 + 30 FROM tbl1 WHERE c3 > 10;
```

- tbl1に対する table:{use select} 権限
- c1, c2 に対する column:{select} 権限
- c3 に対するcolumn:{use}権限
- int4pl関数、int4gt関数に対する procedure:{execute}権限
 - '+'演算子、>'演算子を実装している関数
- ➡ 権限がないと、エラーを返してトランザクションをアボート
- 各タプルに対する tuple:{use select} 権限
- ➡ 権限のないタプルは結果セットから除外される

Case Study (2)

```
UPDATE tbl2 SET x = 'abc', y = 1.05 * y WHERE z = true;
```

- tbl2に対する table:{**use select** update} 権限
- x に対する column:{update} 権限
- y に対する column:{**select** update} 権限
- z に対する column:{use} 権限
 - ➡ UPDATE構文であっても、カラムの参照を伴うケース
- int4mul関数、booleq関数に対する procedure:{execute}権限
- 各タプルに対する tuple:{use select update} 権限
 - ➡ 権限のないタプルは更新の対象から除外

セキュリティコンテキスト

■ 'security_context' システム列

■ 各タプルのセキュリティコンテキストを参照できる

```
kaigai=# SELECT security_context, * FROM drink ORDER BY id;
```

security_context	id	name	price	alcohol
user_u:object_r:sepgsql_table_t:Classified	1	coke	110	f
user_u:object_r:sepgsql_table_t:Classified	2	tea	120	f
user_u:object_r:sepgsql_table_t:Classified	3	juice	150	f
user_u:object_r:sepgsql_table_t:Secret	4	water	120	f
user_u:object_r:sepgsql_table_t:Secret	5	wine	340	t
user_u:object_r:sepgsql_table_t:TopSecret	6	beer	240	t

(6 rows)

■ システムカタログ(System Catalog)

■ テーブルの情報を格納する pg_class テーブル

■ カラムの情報を格納する pg_attribute テーブル

■ DBオブジェクトは、システムカタログ内のタプルとして管理される

➡ これらのタプルのセキュリティコンテキストを利用する

クエリ書換え / 行レベルアクセス制御

- `sepgsql_tuple_perms()`関数
 - タプルに対するパーミッションを持っていればtrueを返す
- 一般的なクエリ
 - `SELECT * FROM t1 WHERE a > 0;`
⇒ `SELECT * FROM t1 WHERE a > 0`
`and sepgsql_tuple_perms(t1.security_context, ...);`
- INNER JOINを含むクエリ
 - `SELECT * FROM t1 JOIN t2 ON t1.a = t2.x;`
⇒ `SELECT * FROM t1 JOIN t2 ON t1.a = t2.x`
`and sepgsql_tuple_perms(t1.security_context, ...)`
`and sepgsql_tuple_perms(t2.security_context, ...);`
 - ✓ 行レベルでフィルタリングした『後』でJOIN処理を行う

特殊なクエリ書換え処理

- OUTER JOIN を含む問い合わせ

- SELECT * FROM t1 **LEFT OUTER JOIN** t2 ON t1.a = t2.x;

- OUTER JOIN の性質

- 被外部結合側テーブル内のタプルを少なくとも一個、結果セットに含む
 - 即ち、単純な条件句書き換えではフィルタリング不可能

- 書き換え処理

- サブクエリへと展開する

- SELECT * FROM t1 LEFT OUTER JOIN t2 ON t1.a = t2.x;

- SELECT * FROM

- (SELECT * FROM t1

- WHERE sepgsql_tuple_perms(t1.security_context,...) AS t1

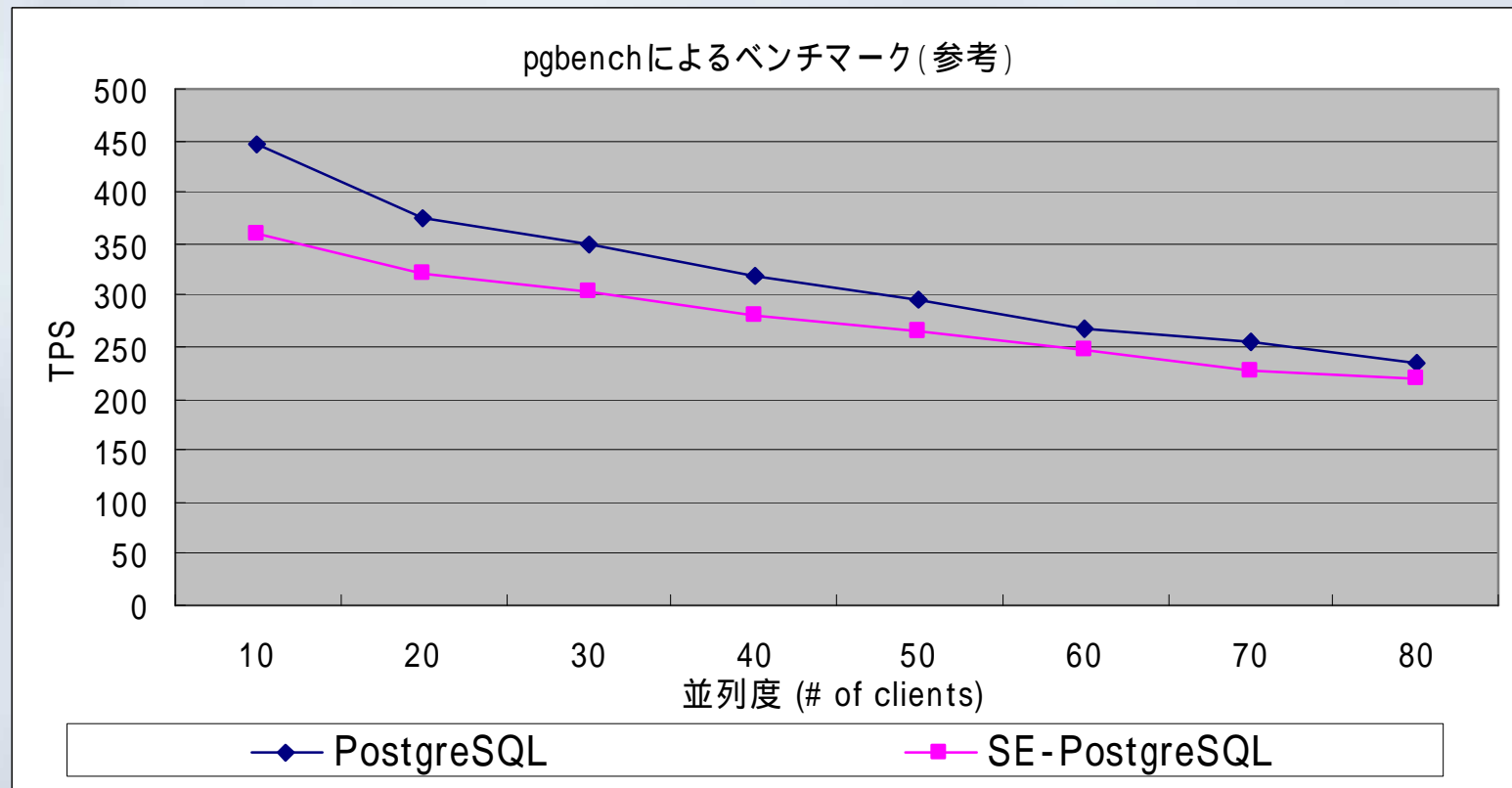
- LEFT OUTER JOIN t2 ON t1.a = t2.x

- AND sepgsql_tuple_perms(t2.security_context, ...);



パフォーマンス (参考)

- pgbenchによる測定
- Core2DuoE6400, Memory: 1GB, HDD: Serial-ATA
- Scaling Factor = 10, Number of total transaction = 120,000



Case Study (3)

```
INSERT INTO tbl3 (id, name, reg_ymd)
VALUES(10, 'KaiGai', CURRENT_DATE);
```

- tbl3に対する table:{insert} 権限
- id, name, reg_ymd に対する column:{insert} 権限
- date()関数に対する procedure:{execute} 権限
- タプルに対する tuple:{insert} 権限
 - ➡ 新しいタプルのセキュリティコンテキストとは？
 - ✓ セキュリティポリシーに基づいて、暗黙的に付与される
 - ✓ **暗黙のセキュリティコンテキスト**に対して tuple:{insert} 権限
 - ✓ 明示的にセキュリティコンテキストを指定することもできる
 - 'security_context'システム列に値を指定する

暗黙のセキュリティコンテキスト

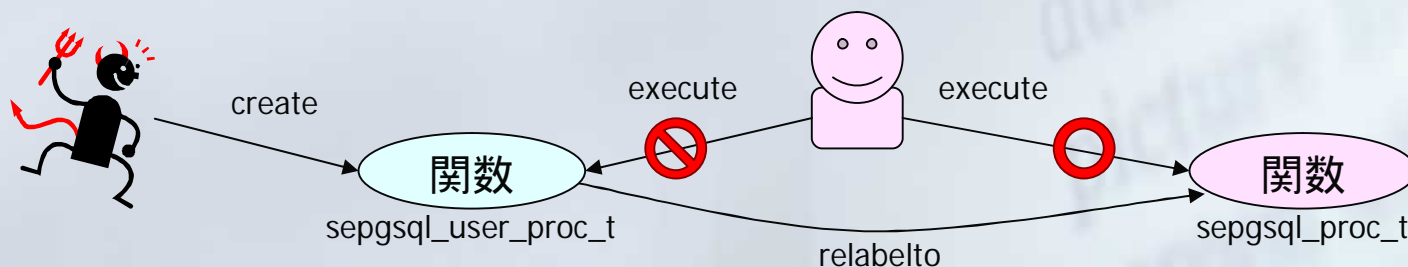
- 上位のDBオブジェクトのタイプを継承
 - databaseクラス ... SE-PostgreSQLドメインを継承
 - table, procedure, blobクラス ... Databaseのタイプを継承
 - column, tupleクラス ... Tableのタイプを継承
- TYPE_TRANSITION (タイプ遷移) ルール

TYPE_TRANSITION <subject domain> <target type>
: <object class> <object type>;

- 特定の組み合わせで、新しいタイプを定義することができる
- 標準のセキュリティポリシー
 - databaseクラス ... sepgsql_db_t タイプ
 - tableクラス ... sepgsql_table_t タイプ
 - procedureクラス ... sepgsql_proc_t, **sepgsql_user_proc_t** タイプ
 - blobクラス ... sepgsql_blob_t タイプ

ユーザ定義関数

- Administrative Domain
 - unconfined_t, sysadm_t, postgresql_t(サーバプロセス)
 - 新しく作成したSQL関数には、sepgsql_proc_t タイプを付与
- Generic Domain
 - user_t, staff_t, httpd_t など
 - 新しく作成したSQL関数には、sepgsql_user_proc_t タイプを付与
- ポリシー
 - Administrative Domainは、sepgsql_user_proc_t を実行できない
 - sepgsql_user_proc_t sepgsql_proc_t への変更は可能
 - ➡ 素性のわからない関数を誤って実行することを禁止



ポリシーのカスタマイズ

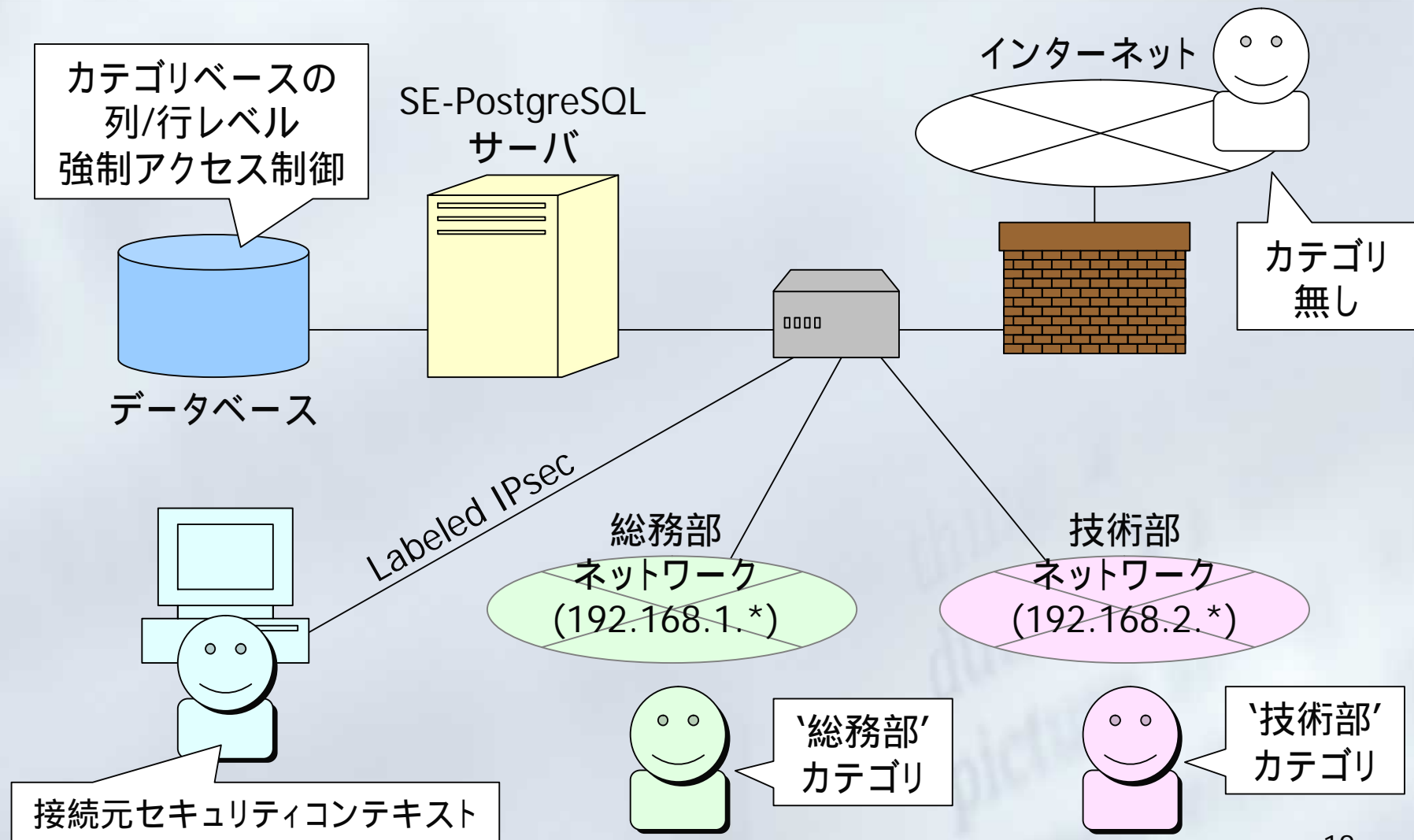
■ Booleanによるカスタマイズ

- sepysql_enable_unconfined (default: on)
 - ➡ Administrative Domainを有効化
- sepysql_enable_users_ddl (default: on)
 - ➡ Generic DomainによるDDL構文の実行を許可
- sepysql_enable_auditallow (default: off)
- sepysql_enable_auditdeny (default: on)
- sepysql_enable_audittuple (default: off)
 - ➡ Auditログの出力を制御

■ タイプの変更によるカスタマイズ

- sepysql_table_t SELECT/INSERT/UPDATE/DELETE可能
- sepysql_fixed_table_t SELECT/INSERTのみ許可
- sepysql_ro_table_t SELECTのみ許可
- sepysql_secret_table_t Generic Domainはアクセス不可

SE-PostgreSQL利用環境





デモンストレーション

その他の諸機能

■ SQL構文の拡張

- テーブル・SQL関数etcのセキュリティコンテキストを設定

```
CREATE TABLE tbl (  
  id integer primary key,  
  data text CONTEXT='user_u:object_r:sepgsql_secret_table_t',  
) CONTEXT='user_u:object_r:sepgsql_table_t:SystemHigh';
```

■ バックアップ/リストア

- pg_dump, pg_dumpall -enable-security オプション

■ PGACE(PostgreSQL Access Control Extension)

- SELinux以外のセキュアOS向けの共通フレームワーク
 - ✓ Trusted Solaris開発者との議論の中で生まれた

今後の予定

- '07/07/01 ... SE-PostgreSQL1.0 リリース
 - 1.0に向けては機能フリーズとしました。
 - ドキュメントも併せて提供しています
 - The Security Guide of SE-PostgreSQL (日本語/英語)
- SE-PostgreSQL1.0正式版...8月上旬予定
- 対コミュニティ活動
 - PostgreSQLへは8.2.4へ向けて議論
 - Fedora Projectへのパッケージの提供
 - Linux Kernel側の動き
 - Initial Security Context取得のI/F ... 2.6.22でマージ
 - Object Class/Access Vector取得のI/F ... 2.6.23でマージ
 - ✓ SELinux Developer Summitでの議論が反映されました。☺

情報源

■ 開発者向け情報源

- <http://code.google.com/p/sepgsql/>
- subversionリポジトリ
 - svn checkout <http://sepgsql.googlecode.com/svn/sepgsql>
- RPMパッケージ
 - Fedora 7/Fedora core 6向けパッケージを提供
- ドキュメント
 - “The Security Guide of SE-PostgreSQL”...日本語版/英語版

■ 軽く宣伝

- 9/7(金) 10:00 ~ 於・東京工業大学
- 未踏ソフトウェア創造事業(2006年下期/千葉PM)成果報告会
 - SELinuxのチュートリアルセッションも予定しています

IPA 未踏ソフトウェア創造事業(2006年度/下期)は、
SE-PostgreSQLの開発を支援しています。

Q&A

Any Question?



ありがとうございました